

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	東急不動産株式会社					
代表者名	氏名	岡田正志	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	東京都渋谷区道玄坂1-21-1					
主たる事業の分類	大分類	K 不動産業、物品賃貸業				
	中分類	6941 6941 不動産管理業				
主たる事業の概要	茅野市、信濃町、軽井沢町においてリゾートホテル及び別荘事業を運営している。					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2444	2395	2553	3881	4079
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5558	5446	5746	8794	9261
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	17		17	22	22
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	92				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

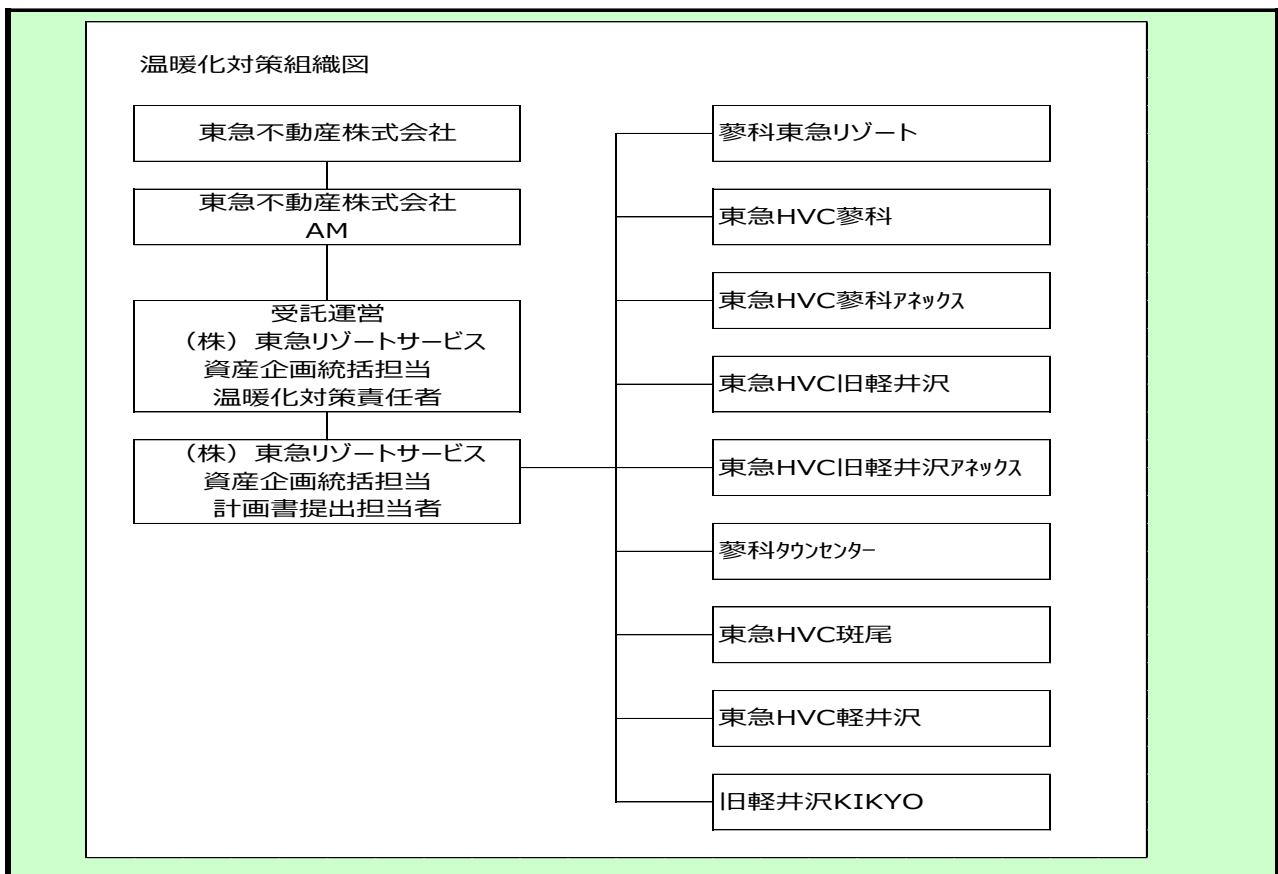
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/index.html
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

長野県内においては、蓼科3件、軽井沢4件、斑尾1件、計6件のリゾートホテル、及び蓼科に別荘地スキー場を有し、運営においては全てを子会社である東急リゾート&ステイ株式会社が受託しており、運営企業として地球温暖化対策に積極的に取り組む。エネルギー管理については施設管理部門及びその委託先と協力し、設備の適正な維持管理による適正なエネルギー消費、及び運用改善による省エネルギー・温室効果ガス削減に取り組む。また、機器更新については省エネルギー・温室効果ガス削減を念頭に置き選定を行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

設備管理ミーティング 1回～2回/月

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,558	t-CO ₂	売上高	3,493.48	単位	百万円	
28年度	調整後排出量	5,249	t-CO ₂	基準原単位	1.59	t-CO ₂ /	百万円	
目標年度	目標排出量	5,446	t-CO ₂	目標原単位	1.56	t-CO ₂ /	百万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	2.01	%	目標削減率	2.00	%		
目標設定に関する説明	リポート施設として比較的標高が高く、暖房需要が外気温に左右されることから2%の削減を目標と設定。機器の運用を改善し燃料、電力の削減を念頭に置く。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	5,746	t-CO ₂	売上高	3,941.94	単位	百万円	
	調整後排出量	5,556	t-CO ₂	原単位	1.46	t-CO ₂ /	百万円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	(3.39)	%	削減率	8.17	%		
排出量等の増減理由	業績が好調に推移したため全体の排出量は前年度を超過したが、適切なエネルギーコントロールを実施、原単位では大幅に削減できた。							
第二年度	排出量	8,794	t-CO ₂	売上高	5,064.95	単位	百万円	
	調整後排出量	8,954	t-CO ₂	原単位	1.74	t-CO ₂ /	百万円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	(58.23)	%	削減率	(9.44)	%		
排出量等の増減理由	新規ホテル2件開業により排出全体が増加、並びにオペレーションも既存と異なり、夏期猛暑も相まって原単位でも増加となった。							
第三年度	排出量	9,261	t-CO ₂	売上高	5,896.30	単位	百万円	
	調整後排出量	9,216	t-CO ₂	原単位	1.57	t-CO ₂ /	百万円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	(66.63)	%	削減率	1.25	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	昨年開業したホテルが年度通期で営業。4月～7月。コロナ禍による売上高減少、主に2月～3月。第二年度の排出量を修正しました。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	92	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110203 HVC蓼科に置けるボイラー更新LPG化	29	26.8	29	10
2	エネ起	120201 HVC蓼科共用部空調機更新工事	29	10	29	5
3	エネ起	150103 変圧器更新による無負荷損低減	29	2	29	1
4	エネ起	110401 エネルギーフローの管理	29	1	29	1
5	エネ起	110402 日使用量日負荷変動の管理	29	1	29	1
6	エネ起	110403 月使用量月負荷変動の管理	29	1	29	1
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	309		190	-160	45
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k1未満	7	5,558	7	5,746	9	8,794	10	9,261
合計	7	5,558	7	5,746	9	8,794	10	9,261

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車	0	0	0	
燃料電池自動車	0	0	0	
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	
その他 (ハイブリッド等)	0	0	0	
合計	0	0	0	0
自動車総数	17	17	22	22
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	実績なし
その他	実績なし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	一定距離以下(2km)の自動車通勤を禁止している。
公共交通機関の利用促進	なし
来客者の交通対策	蓼科において循環バス乗り合い、公共交通機関まで送迎バス運行。
物流の合理化	なし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	汚水処理施設の汚泥焼却処理に代わりポン処理による汚泥削減
第一年度実績	東急HVC蓼科で共用部の冷房を水冷チラーより空冷HPへ変更、東急HVC斑尾において共用部分蛍光灯をLEDへ更新。
第二年度実績	東急HVC軽井沢開業に伴い、敷地内の平坦部分は全て芝・植栽等で緑化。
第三年度実績	風呂差し湯を調整し、上水による昇温負荷の低減

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	蓼科各ホテルにおいて庭園灯約50本を蛍光灯からLEDへ更新	5
その他		